

最先端・次世代研究開発支援プログラム ヒアリングにおける追加説明資料の様式等について

最先端・次世代研究開発支援プログラムのヒアリングにおいては、応募研究者は研究計画調書に基づき説明することを原則としますが、必要な場合には追加説明資料を使用することができます。その場合の資料の様式等は以下のとおりです。

◇紙媒体による追加説明資料の様式等

使用言語	研究計画調書作成時に用いた言語
用紙サイズ	A4判 縦型／横型 いずれも可
文字の書体・大きさ	自由
表紙	自由（ただし、1枚目上部に「受付番号」、「最先端・次世代研究開発支援プログラム」、「(研究課題名)」、「(所属機関・部局等名)」、「(応募研究者氏名)」を記入すること。）
ページ数	10ページ以内 (片面印刷の場合10枚以内、両面印刷の場合5枚以内) ※複数ページを1枚に集約して印刷することは不可
印刷方法	片面／両面印刷 いずれも可、カラー／モノクロ いずれも可
綴じ方	左上1か所ステープル留め
部数及び提出期限	25部 （ヒアリング当日に持参すること。）

※追加説明資料は返却しない。

◇PC及びプロジェクターによる説明を行う場合の留意点

- パワーポイント（スライド10枚以内・サイズ5MB以内）で作成すること。
 - パワーポイントファイルの名前は、実施通知に記載の「受付番号」とすること。
 - パワーポイントファイルは、所属機関事務担当者が別途定める期限までに同事務担当者に提出すること。
 - ファイルと紙媒体の内容は同一とすること。
 - ヒアリング当日に使用する予定のPCの環境は以下のとおり（パワーポイントにて映像等を併用する際には特に留意すること）
 - ・OS：Windows XP Professional SP3
 - ・アプリケーション：Microsoft Office PowerPoint 2007
 - ※PC等の持ち込みは禁止、書画カメラ、OHP、ビデオ等の使用は不可とする。
- また、提出されたパワーポイントファイルは返却しない。

追加説明資料イメージ(パワーポイントの場合)

<1ページ目>

/	受付番号
最先端・次世代研究開発支援プログラム	
研究課題名	
所属機関・部局等名	
応募研究者氏名	
平成22年〇月〇日	
1/総ページ数	

<2ページ目以降>

説明内容(文章、図表、画像等)を記載	
2/総ページ数	